

令和6年度 公益社団法人 王寺町シルバー人材センター 事業報告

1. 概要

コロナ禍が収束し、社会経済活動も回復基調にある中、シルバー人材センターについても、就業機会の開拓・マッチング機能や地域の実情を踏まえた積極的な取組みの強化が求められています。

しかしながら、高齢者の人口が増加する一方で全国の会員数は減少の一途をたどるとともに、現会員の高齢化も課題となっています。

当センターにおいても、令和元年度末に221人であった会員数は、令和4年度末には174人、令和5年度末には158人と減り続け、令和6年度末には163人と若干増えたものの、会員の減少や高齢化は深刻な問題となっており、このような状況下において、シルバー人材センターの安定的な事業運営を図るためには、入会促進と就業機会の確保・拡大が急務となっています。

そのためには、センター事業への理解を広く町民に深めて頂くことが重要と考えており、会員の入会促進のため、町広報誌「王伸」への掲載回数を増やし、さらには、センターの仕事の内容や入会促進のためのチラシを年3回広報誌に折り込み全戸配布するなど、広報による就業機会の拡大、会員確保のための普及啓発活動に努めました。

また、安全で安心して就業できることが、シルバー事業の遂行の根幹をなすものであり、重篤事故、傷害事故の発生を未然に防ぐことが重要です。

会員には、日頃から安全意識の徹底とその高揚を図ると共に、会員の安全就業を第一に考え、「安全衛生委員会」において、安全就業への取り組みについて他団体での事例を確認するほか、安全就業のための冊子を会員に配布しました。

また、安全パトロールを実施し、直接現場での事故防止の周知にも努めるなど、会員の安全就業への意識向上を図りました。

事業実績では、王寺町をはじめ関係機関、民間事業所及び町民の皆様のご理解とご支援のもと、就業機会の確保に努めて参りましたが、請負事業の契約金額101,650千円、前年度比114.5%で、12,882千円の増額となりました。

一方、派遣事業では契約金額3,148千円、前年度比74.2%で、1,092千円の減額となりました。

依然として会員の高齢化と就業機会の減少は課題となっておりますが、今後とも、皆様のご理解とご支援を頂きながら、新規会員の確保と就業機会の拡大を図り、地域社会に貢献するシルバー人材センターとして更なる充実と発展を目指して参ります。